最新情報

第37回佐賀救急医学会を開催いたしました！！

2014年09月11日

平成26年9月6日（土）佐賀市のアバンセで第37回佐賀救急医学会「救急外傷～外傷治療における医療連携の在り方～」を無事終了することが出来ました。
延べ250人の参加を頂きました。

今回、第三会場では一般市民向け心肺蘇生講習会があり、多くの方に足を運んでいただきました。いざという時のためにと、皆さん熱心に講習を受けられていました。

中川原理事長、樽木館長より開会のご挨拶を頂きました。

第一部では二会場に分かれて演題別に講演が行われ、第一会場演題A1では「救急体制、病院連携、病院前外傷診察」について、藤原紳祐センター長（国立病院機構　嬉野医療センター　救命救急センター長）、田原則夫係長（佐賀広域消防局　佐賀消防署　救急係長）に座長を務めていただき、また、演題A2では「外傷に対するリハビリ、看護」について、原崎真由美看護師長（鍋田病院　看護師長）と梶原早苗（佐賀県医療センター好生館　ICU副看護師長）が、A3では「頭頸部・脊椎・骨盤外傷」について、岩村高志センター長（佐賀大学医学部付属病院　救命救急副センター長）と桃崎宣明副院長（伊万里有田共立病院　副院長）が、座長を務められました。
第二会場の講演、演題B1では「その他・脳卒中、心血管、脊髄疾患、中毒など」について、中島厚士部長（唐津赤十字病院　救急科部長）と大串和章（佐賀県医療センター好生館　救命救急センター副看護師長）が座長を務められ、B2では「その他の救急疾患」について山口淳三副院長（国立病院機構、佐賀病院　副院長）、多久島圭子看護師長（山元記念病院 看護師長）に座長を務めていただきました。

第二部の特別講演では講師　埼玉医科大学総合医療センター　高度救命救急センター井口浩一先生をお招きして「脊髄・骨盤外傷の救命戦略と機能予後」について講演頂きました。

第三部シンポジウムでは「外傷センターにおける連携」をテーマに、座長　佐賀県医療センター好生館外傷センター　センター長　前隆男が務め、コメンテーターに埼玉医科大学総合医療センター高度救命センターの井口浩一先生をお招きし講演いただきました。

第三会場一般市民向け心肺蘇生講習会の様子です。皆さん熱心に講習を受けられ、講習後は前に比べ上達され、いざという時の不安感もなくなったとのことでした。

最後に、第37回佐賀救急医学会実行委員長　前　隆男（佐賀県医療センター好生館　外傷センター　センター長）と次期会長の阿部　庸次郎院長（国立病院機構　嬉野医療センター　院長）のご挨拶をもって閉会と致しました。

幅広い演題でさまざまな立場からの講演を拝聴でき、実りある学会でした。ご参加いただいた皆様には心より感謝申し上げます。
ぜひ次回もご参加の程よろしくお願い致します。

最新情報に戻る
ページの先頭へ戻る

本サ･イト上の文章や画像等に関する諸権利は佐賀県医療センター好生館に帰属します。本サ･イト上の文書･画像等の無断使用･転載を禁止します。
Copyright 2004-2013 SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN. All rights reserved.